

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 守恒 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

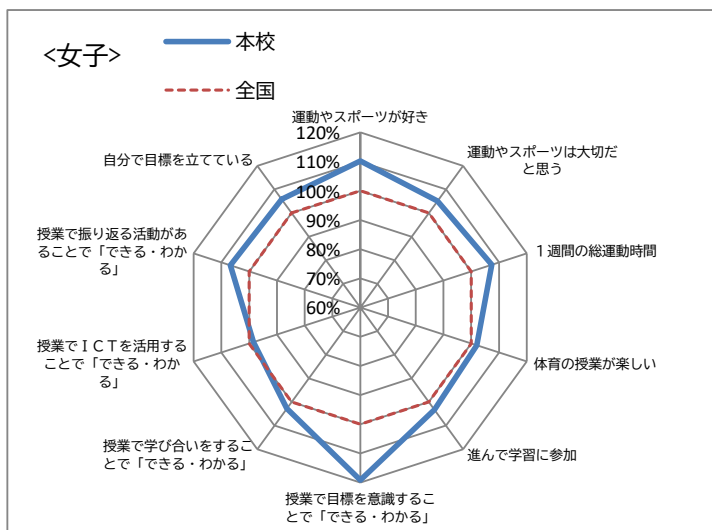
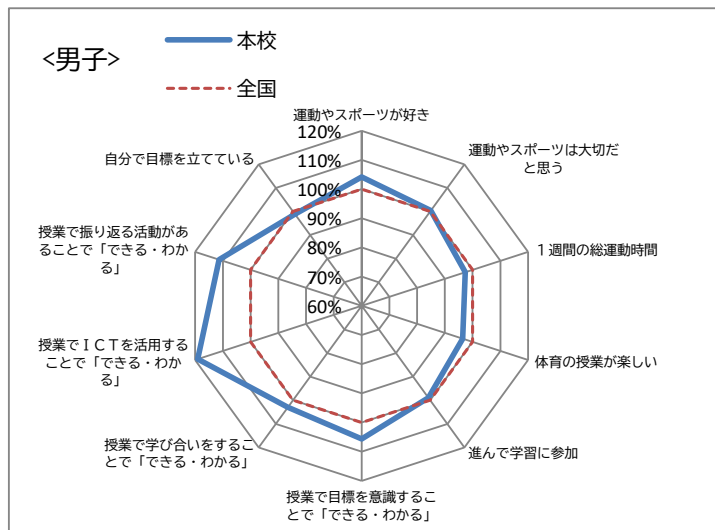
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目		○	○			○			○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目			○						

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女問わず、「運動やスポーツが好き」という質問に対して、95%以上の回答が得られ、非常に良い傾向が見られる。これは、日頃から体育の授業を楽しんで取り組んでいる成果と考えられる。また、保健学習や総合的な学習の時間を通じて、運動の重要性を子どもたちに伝えたことが、意識向上に繋がったと考えられる。さらに、体育の授業以外で運動を行っている児童も多いため、今後も継続的に運動を促進していきたいと思う。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 「体育の授業は楽しい」という質問に対して、肯定的な回答が92%となり、本校の目標を上回る結果となった。これを受けて、今後も子どもたちが体育の授業を楽しめるような内容を提供していきたい。
- 体力テストの結果、5年生に限らず学校全体で、全国および市の平均を上回る種目が非常に少ない状況である。このため、学校独自の取り組みだけでなく、授業の始めに学年や児童の実態に応じた運動(トレーニング)を取り入れ、体力向上を目指していきたいと考えていきたい。(体力アップ福岡運動を参考にして)

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

後期に「ワクワクチャレンジ(体カテスト)」と「モリモリマッスルパーティ(縄跳び・ダンス)」を全学年を対象に行った。どの学年も意欲的に取り組む姿が見られ、運動する楽しさを味わうことができた。普段運動をしない児童も楽しそうに参加している姿が見られた。